



遠野市記者発表資料  
平成 25 年 4 月 26 日  
健康福祉部 福祉の里福祉課

## 冬のぬくもり応援事業の実施結果について

### 【発表の要旨】

沿岸被災地からの避難者を含めて実施した灯油購入等助成券交付事業「冬のぬくもり応援事業」の実施結果をお知らせします。

### 【発表の内容】

#### 1 実施結果

対象世帯	申請世帯	交付世帯	利用実績
2,385 世帯	2,103 世帯 申請率 88.2%	2,079 世帯 交付率 98.9% 交付額 20,790 千円	20,537 千円 執行率 98.8%
175 世帯	121 世帯 申請率 69.1%	121 世帯 交付率 100.0%	—

※下段は、全体のうち沿岸被災地から避難された方への実績値

【内訳】	灯油	12,897千円 (構成比 62.8%)
	衣類	708千円 ( " 3.4%)
	食品	6,453千円 ( " 31.4%)
	タクシー	39千円 ( " 0.2%)
	その他	440千円 ( " 2.2%)

#### 2 検証結果

- (1) 沿岸被災地からの避難世帯には、住所の有無、世帯構成、所得状況を問わず助成券を交付したため、非常に好評でした。
- (2) 被災者住宅再建支援事業補助金により住宅再建した世帯が40世帯ほどあったため、沿岸被災地からの避難世帯への交付は昨年度よりも減少。復興が少しずつ進んでいることが感じられました。
- (3) 他市と比べ被災者への支援を早期に決定したこと、市職員の手渡しによる配布を行ったことなどから、短期間で事業を実施することができました。
- (4) 平成 21 年度を除き 5 回目の事業実施であるということと、利用期間(12 月～3 月)が長かったことなどから、過去最高の執行率となりました。
- (5) 灯油購入だけに限定せず利用範囲に幅を持たせたことで、市民の経済的負担を軽減することができました。地域経済にも一定の効果があったと捉えています。

担当	健康福祉部 福祉の里福祉課 (佐々木) 電話 0198-62-5111 (内線 19)
----	--

**[参考]** 冬のぬくもり応援事業の概要

**1 目的**

市民税非課税の高齢者世帯・障がい者のいる世帯・18歳未満の者を養育している世帯のほか、東日本大震災により沿岸被災地から本市に避難されている方を対象に「冬季の灯油購入等の助成による経済的負担軽減」と「地域経済の活性化」を目的に「冬のぬくもり応援事業」を実施します。

**2 内容**

(1) 対象

対象要件		対象世帯数
市民税非課税世帯 <small>※施設入所者及び生活保護世帯除く</small>	①高齢者世帯	満65歳以上の者のみで構成される世帯 1,730世帯
	②障がい者世帯	重度心身障害者が属する世帯 163世帯
	③子育て世帯	18歳未満の者を養育している世帯 317世帯
	④沿岸被災地からの避難世帯	175世帯
合 計		2,385世帯

- (2) 交付内容 1世帯当たり1枚1,000円分の助成券10枚(計10,000円分)を交付
- (3) 使用期間 助成券を受け取った日から平成25年3月31日(日)まで
- (4) 使用方法 市内の助成券取扱店(取扱店舗数174店)に助成券を提出し、購入代金から当該助成券の額を控除した額を支払ってまいります。
- (5) その他 昨年度の「縁が結ぶ心あたたまる助成事業」で利用者から声が寄せられた「タクシー利用」が、市内タクシー会社の協力により、本年度から可能となりました。

**3 これまでの実績**

申請世帯数	交付世帯数	実績額
<b>[平成19年度] 冬のぬくもり応援事業費</b>		
1,771世帯	1,743世帯(交付率98.4%)	17,161,000円(利用率98.5%)
<b>[平成20年度] 冬のぬくもり応援事業費</b>		
1,885世帯	1,875世帯(交付率99.5%)	18,429,000円(利用率98.3%)
<b>[平成22年度] 春の心あたたまる事業費</b>		
1,944世帯	1,928世帯(交付率99.2%)	18,308,000円(利用率95.0%)
<b>[平成23年度] 縁が結ぶ心あたたまる助成事業費</b>		
2,175世帯 (うち避難者160世帯)	2,153世帯(交付率99.0%) (うち避難者158世帯)	21,156,000円(利用率98.3%)